

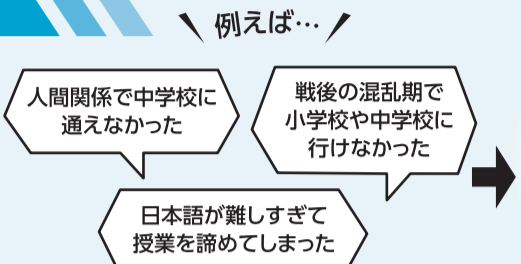
自分らしく輝く未来へ 学び直しを応援!

県立ふじのくに中学校が4月開校

いよいよ開校する夜間中学。その特徴や教育内容などについてお知らせします。「入学してよかった!と心から思ってもらえる学校を目指していきます。」

生徒誰もが「学ぶ喜び」を実感できる学校

県内には、かつて日本や海外で不登校だった方、家庭の事情で小学校や中学校に通えなかった方など、義務教育を十分に受けられなかった方がいます。県立ふじのくに中学校は、日中に仕事などがある方も通えるよう、夜間に授業を行います。一般の公立中学校と同じ教科書を使って、それぞれの状況に合わせた教育を受けることができます。「学びたい」という前向きな気持ちを持つ方のために開かれた学びの場です。



「学びたい」と思う誰もが学べる。学び直しができる学校

県内2カ所 夜間に無償で教育を!

○東海北陸地方で初!(県立では全国で3番目)の設置

○入学科、授業料、教科書代は無償 ※授業で使う教材などは各自で購入します。

○県東西で同時開校!

駅から近く、どこに住んでいても通いやすい場所にあります。



●学習内容

・中学校の教科学習(国、社、数、理、音、美、保健、技、英...)
※日本語の学習のみや、一部の教科のみの学習はできません。

●入学対象

・県内在住の15歳以上の方
・日本または海外で9年間の義務教育を受けていない方(形式的卒業を含む)
・外国人は在留カード所持者

●授業時間

17時~21時(年間700時間)

※令和5年度(2023年4月~)の入学受け付けは終了しています。



自分に合った学びができる!

- ①オンラインによる授業
多くの人と交流し、さまざまな考え方に触れます
- ②ティーム・ティーチング
1つの授業に複数の教員を配置し、丁寧で細やかな対応をします
- ③日本語の力や学習レベルに合わせたコース編成
教科学習コース 学習指導要領に沿って中学校全ての教科を学習
学習言語コース 難しい学習言語の習得をその前後の予習授業や補習授業でサポート
初期日本語コース 学校生活や授業に必要な日本語を習得しながら参加できる授業を増やす(1年生のみ)

一人も取り残さない! 生徒個人に合わせた学び

ティーム・ティーチングやコース編成により、「授業がわからない」生徒を置き去りにせず、全員が「学ぶ喜び」を感じることができる教育を実践していきます。また、世代や国籍を越えたさまざまな他者がいる学び舎に通うことや、ICT(情報通信技術)も活用した他者とのコミュニケーションにより、社会とのつながりを育んでいきます。

静岡県で「なりたい自分」になる!

開校目的の一つに「自らの未来を切り拓き、地域の発展に寄与する多様な人材の育成」があります。卒業した生徒一人一人が、学校で学んだことや社会とのつながりを糧として、社会の中で「なりたい自分」になり、地域で活躍できる人材の育成を目指します。

年齢や国籍は違っても「もう一度、学びたい」という志は同じ。同級生や先生たちと力を合わせ、新しい自分への一歩を踏み出す場所が夜間中学です。待望の「県立ふじのくに中学校」に入学する皆さんを応援しています!



静岡県立夜間中学(ナイト・スクール・プログラム)設置検討有識者会議 副委員長 静岡県立大学国際関係学部 高畑 幸 教授

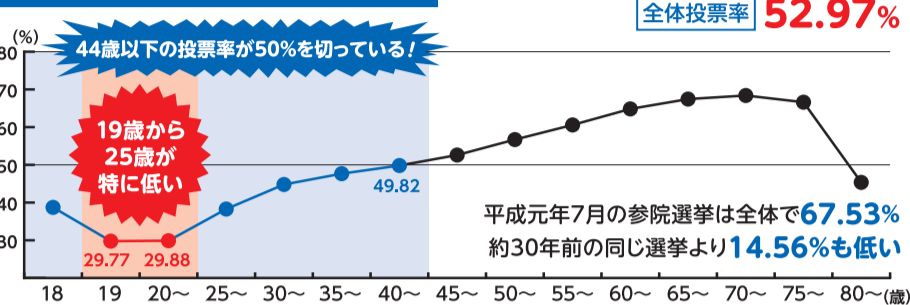
【問い合わせ】 県義務教育課 ☎054(221)3106 FAX 054(221)3558

私が選挙に行く理由

自分やみんなの願いをかなえるために!

若年層を中心に全年代で、年々選挙の投票率が下がっています。選挙は私たちがより良い暮らしを願って、代わりにその思いを実現してくれる人を選ぶための機会であり、私たちが政治に参加できる権利です。自分のために、地域のみんなのために、あなたの大切な一票を投じましょう。

年代別の投票率(令和4年7月参院選挙)



投票率が低下するとどんな影響が?

投票しないこと=政治に参加しないこと。これは、多くの国民の声や政治に反映されていないことを意味します。また、投票率が低い世代の声が政治に届きにくくなり、その世代に向けた政策が実現しにくくなる可能性があります。

あなたの声が県政に反映されるチャンス!

自分の意見を伝え、身近な県政に参加できる「県政インターネットモニター」になりませんか?

- 対象者 県内に在住または通勤・通学している満15歳以上の方
- 受付 ~3/3(金)
- 申し込み 募集HP申込フォームで
- 問い合わせ 県広聴広報課 ☎054(221)3232 FAX 054(221)4032



若者が選挙に行かないと...



若者の声で投票率UPを!

若者に政治・選挙をもっと身近に感じてほしい、声を政治に届けたい。そんな若者たちが若者選挙パートナーとして、若者向けの選挙啓発に取り組んでいます。

令和4年度のパートナーは26人(高校生18人 大学生8人)

- 選挙前の啓発イベント
- 県内の大学などで街頭啓発
- 県内の高校などで出前授業



●選挙に関心を持ったきっかけは? 幼い頃、両親と一緒に投票所に連れて行ってくれたため、選挙を身近に感じていました。

●政治や選挙、どうすれば身近に感じる? 投票は、自分が社会の一員であることの意味表示。どの政党・候補者に投票したらよいかわからなくてもまずは投票することが、その一歩だと思います。

●日常生活ではどんなときに政治を意識する? 政治だからと難しく考えなくても、家族でテレビを見ながら雑談するだけでも、その会話が意外と社会に関連があることだったりします。

私たち若者選挙パートナーです!



●選挙に関心を持ったきっかけは? 中学の公民の授業です。当時の先生が自分たちに考えさせる参加型の授業をしてくれました。

●どうして投票率が低いと思う? テレビや新聞を見ないことによる知識の少なさ、授業で習う内容が少ないことなどが原因だと思います。選挙制度を学ぶ機会は意外と少ないです。

●どうすれば投票に行ってもらえる? SNS(Instagram)の活用や参加型の講義など、選挙を自分ごとで捉えてもらう工夫が必要だと思います。

2023年は「統一地方選挙」

4/9 静岡市長・浜松市長、県議会・浜松市議会議員の選挙

4/23 政令市以外の4市町長と13市町の議会議員の選挙

県議選 地域の魅力フォトコンテスト開催!

あなたの選挙区の魅力的風景や推しの街角を募集します。とっておきの写真を応募して、選挙を盛り上げよう!

募集(2月上旬予定) 人気投票(4/9まで)

衆議院小選挙区の区割りが見直し

一部区域が変更となります。次回公示される衆議院議員総選挙から適用されます。

家族や身近な人と選挙について話してみよう!どんな意見が出たか教えてね! 投票方法 県民だよりのプレゼント応募フォーム・ハガキ・メールに記載

【問い合わせ】 県選挙管理委員会 ☎054(221)2058 FAX 054(221)2776

新型コロナウイルス感染症関連 医療ひっ迫防止対策強化宣言発令中!

昨年末からの新型コロナの感染急拡大に加え、冬期は救急患者が増加する時期です。「新型コロナに感染したけれど病院を探すのが大変だった!」という声が寄せられたり、コロナ以外の急な病気やケガになってもすぐに治療を受けられなかったりするケースが発生しています。

今、病院の状況は...? 病院の先生に聞きました ※1月中旬時点の状況です

- 冬になり、コロナだけではなく、脳血管疾患や心臓疾患など命に関わる救急の患者さんが増えています。病院にはひっきりなしに救急車が入ってくる状況が続いています。受け入れ先がなかなか決まらない方もいます。地域全体で医療体制をなんとか維持している状況です。
- 医師や看護師の業務、診察スペースなどがコロナ患者さんで占められ、それ以外の病気やケガの患者さんの対応に影響が生じています。そのため、「時間外受診」はできるだけ避け、相談先や受診先は自治体のホームページなどで確認してください。また、入院や退院は医師の指示に従い、本当に必要な方が入院できるようにご協力をお願いします。
- 子どもはコロナにかかっても軽症で済むことが多いですが、まれに重症化すると進行が早く、命に関わることもあります。重症化を防ぐためワクチン接種をお願いします。

県からのお願い

熱やのどの痛みなどのかぜ症状のみの場合は、慌てず、まずは自宅で静養してください。本当に辛い症状の方がすぐに受診できるように皆さまのご協力をお願いします。

県民の5人に1人は既に感染! 「自分もかかる」と思って備えてください。

- 【準備するもの】
 - 解熱鎮痛剤・体温計・食料品(5~7日分)
 - コロナ抗原定性検査キット(「医療用」または「一般用」として販売されているもの)など

【問い合わせ】 県新型コロナ対策企画課 ☎054(221)2982 FAX 054(221)2261

●うちあけダイヤル 「学校に行くのが怖い」、「身近な人に相談しにくい」、「一人で解決できない」...そんな時、ありのままの気持ちを打ち明けてみませんか? ウェブサイトはこちら

●しずおかこども家庭相談 子育て・家庭・親子関係・ヤングケアラーなどの悩みを気軽に相談できるLINEを活用した相談窓口です。受付:毎日12時~20時 登録はこちら

●虐待かもと思ったら 189(いちばやく)番へ 受付:毎日24時間365日 SORAチャット相談はこちら

海外からの“旬な”お便り

ブラジルの選挙は日本から投票可能

令和4年10月に4年に1度のブラジル大統領選挙がありました。ブラジルでは、投票は国民の義務とされ、海外に住む人も投票しなければ罰金などが科せられます。県内では浜松市に投票所が設けられ、「良い国となつてほしい」と多くの人が投票しました。

静岡市内で日本語と製菓を勉強中

県からブラジルへ移住した人々がつくる「ブラジル静岡県人会」の推薦を受け、県の研修制度により令和4年9月に来日し、半年間、日本語と製菓について勉強しています。

翠富士閣をふじっぴーが応援!!

焼津市出身の幕内・翠富士閣が、1月に行われた大相撲初場所、県のイメージキャラクター ふじっぴーを刺繍した化粧まわしを締めて話題となりました。これは地元有志の方々が、翠富士閣を県内全域で応援するために制作し、実現したもので、がんばれ!翠富士閣! ふじっぴーも応援しています!!

●性暴力被害者支援センター SORA 性暴力被害に遭われた方の相談窓口です。一人で悩まずお電話ください。☎#8991(24時間365日) SORAチャット相談はこちら

リニア中央新幹線静岡工区

リニア中央新幹線静岡工区 第10回生物多様性部会 専門部会の開催

令和4年12月20日に国の第6回環境保全有識者会議が開催され、今後の議論の論点案が示されました。

これを受け、県は1月12日に第10回生物多様性部会専門部会を開催し、環境保全有識者会議での議論の状況を共有するとともに、課題などについて、意見交換を行いました。

これまでの有識者会議で議論が不足している論点などについて、「水生生物に開ける生態系は、水生生物だけでなく、河川林といった周囲の生物群を組み込んで考えるべきである。」などの各委員からの意見を取りまとめとして国土交通省に提出し、有識者会議で議論していただくよう求めています。

【問い合わせ】 県環境局 ☎054(221)2421 FAX 054(221)2940

●DV相談窓口(女性相談センター) ☎#8008(はれれば) 配偶者や恋人などからの暴力(DV)に悩んでいませんか。秘密はちゃんと守ってもらえます。安心して、ご相談ください。受付:9時~20時(年末年始・祝日を除く)